

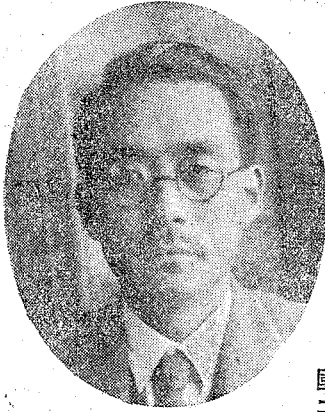
説苑



歴代内務土木局長と其時代 (三十六)

成田 一郎氏 (下)

清水生



國土計畫と港灣

國土局長とし

ての成田一郎氏

は昭和十六年十

月十八日に東條

英機陸軍大將を

首班とする現内

閣が出来上ると

東條首相が内相兼攝となつて、次官には當時産業報國會の

理事長であつた現内相である湯澤三千男氏が任命されたの

であつた、そのあと二日を置いて同月二十日に國土局長の

椅子を新居善太郎氏に譲つて、即ち東條内閣の下に地方局

長に轉じたのであつた。更れば成田氏は内務省の一部機構

改正による初代の國土局長たるの在職は僅かに一ヶ月と十

日位であるから、従つて國土局長としての氏はあまり書く

べきものはない。併乍ら氏は國土局長時代に國土計畫と港

灣について。

我國は四面海に圍まれて居る國で、又多數の島々から成立して居る國柄であるが故に昔から國內の交通といふ點から觀察して、又海外との貿易といふ點から見ても港灣は極めて重要な地位を占めて居る、殊に物資の有無相通するといふ意味に於ける貿易だけでなく、我國文化の發達が其の當時に於ける先進國である支那其の他の國々から港を通じて我國に入つて來たことは歴史に明かなところである。

と、當時の海外貿易の狀態から説いて更に徳川時代の一時的鎖國狀態を述べて。

然るに明治維新と同時に我國は開國の方針に基き廣く海外の物資は勿論文明其の他凡ゆる優れたる點を取入れるに至つたので、港灣の重要性は非常に加はつて來たのである、處が今回の支那事變が起つてからはこの港灣の重要性は一層其の度を高めたのである。

とて港灣修築改良の必要を力説して、更に軍の輸送、軍

需の方面より見る港灣の働きに付き縷々述べて、高度國防國家建設の爲に生産力の擴充が益々必要となることを指摘して、これがためにも亦港灣が非常なる作用をして來るところを論じて居る。更に氏は。

#### 日滿支交通一體と三ヶ年計畫

内務省に於ては既に昭和十五年から日滿支の交通を一體として見た場合に於ける港灣の孰れを如何なる程度に擴張しなければならぬかといふやうなことに付いて昭和十五年以來調査研究をしてゐる、これは昭和十七年度までの三ヶ年計畫を以て調査して居るのであるが、其の結果に基いて相當快心の計畫といふものを作つて見たい、と、氏は所謂日滿支の三位一體とする海上交通政策に伴ふ港灣の改良等についてその抱負を吐露して。

併乍ら港灣の修築の如きは一年二年の短期間では到底出来るものではなく、五年十年二十年の長き歲月に互らなければ出來上るものではない、故に斯様な根本的調査研究は必要ではあるが、一面に於ては現狀を如何するかは現在の

港灣は非常に困つてゐる、即ち船舶は幅狭して荷役が充分に行かない現状を其の儘にして置く譯けにも行かぬのである、この問題は今日の相當大なる問題となつてゐるが、其の中の重要な部門としては所謂港灣行政の統一といふ問題である。

とて港灣行政についてはその關係官廳の多きことを指摘して。

港灣の修築或は維持等の方面は、内務省が從來よりやつてゐるが、船舶海運方面は遞信省の方面にて掌り、又税關の方面になると大藏省の所屬になつてゐる、更に検査に付いては厚生省に、輸出入植物の検査に關しては農林省が關係してゐる、鐵道の引込線については鐵道省が發言權を持つて居る、かやうに港灣行政が各方面に分かれて種々の官廳に管掌せられて、この點に付ては其の間に不利不便が起つて來ることが相當前からの問題であつた。

とて種々その實例を示して。

この問題に付ては最近大體の方針が確立されたのである、今日の海運が非常に行詰つてゐて、港灣に船舶の入港して色々の手續で長く其處に碇泊を餘儀なくされるが故に、この間の手續は出來得る限り簡單にして船舶の能率増進するの意味合から遞信省が主となつて、大體國家としての方針が定まつたのである、而して其の大體の方針に基いて、現在遞信省を中心として海運、海上運輸の立場から出來る限り一元化して行く方針でやつて居るやうな次第である。

#### 臨海工業地帯について

成田氏は更に工業港……臨海工業地帯の問題に移つて。

臨海工業地帯の造成といふことは今日の時局に於て其の必要性が痛感せらるゝのである。殊に生産力擴充の點から見ても將來澤山の工場増設は見られるので、恰もこれ等の工場は從來の如く一萬坪、二萬坪の如き小さな敷地では駄目であつて、何十萬坪或は甚しきに至つては數百萬坪の敷地を要する工場が段々出來てくる。而して

是等の工場の敷地を求めるとに當つて、美田を潰すことは重要な食料品である米の減産を招來するのみでなく、一團の龐大なる土地を求めるとは非常の困難である、こゝに海岸を埋立以て一體としての工場地帯を造つて行く、而してこの工場地帯に附屬する港といふものを作つて行くことが非常に必要となつて來るのである。とてその例を引いて。

この臨海工業地帯は古くは京濱運河でこの一體の地帯が即ち臨海工業地帯の古い實例である、其後現在やつてゐる例としては、廣島の工業港の問題、或は富山の東岩瀬の工業地帯、更に青森縣下の八戸の工業地帯等は既に着手してゐるが、現に計畫されつゝあるものは非常に澤山あつて、その一例を擧ぐると、兵庫の西播磨地方に於ける臨海工業地帯、熊本の八代、四國の愛媛の新居濱附近、又名古屋の近くに於ても色々計畫が行はれてゐる、内務省に於てもこの問題を是非促進して行きたいと考へてゐる。

とて昭和十五年に開かれたる土木會議に於ても現時の國策上臨海工業地帯の達成を奨勵する方針を以てこの案件が可決されたことに及んで。

#### 臨海工業地帯と當局の方針

更ればと云つてこの問題は從來の如く個々の會社、個々の工場が達成するに放任して置いては到底充分なる成果を期することは出来ないから、國家が自ら必要なる場合には自ら臨海工業地帯を造つて行く方針と、其他公共團體に於ても出来るだけ臨海工業地帯を造るやうになし、而して公共團體が工業地帯を造成する計畫を樹てたる場合に於ては國庫に於てもこれを助成するやうにしたい方針である。

とて氏は臨海地帯造成の奨勵と當局の方針を明かにしたる後。

國が直接に行つてゐる臨海工業地帯は目下九州の小倉港に相當大規模の臨海工業地帯を現に造成中であり、更に千葉縣下船橋地先に於ける臨海工業地帯造成の二つで

ある。この船橋地先のは、利根川の改修計畫に依つて船橋地先に新たな放水路を設置することになり既に事業に着手してゐるが、この放水路の開鑿に依つて出る大量の土砂を利用して以て船橋地先に相當大きな工業地帯を造成する計畫が昭和十六年度豫算として協賛を得たので着手してゐる有様である。こゝに唯だ残念なることは、府縣又は市に於て行はれつゝあるもの又は行はれようとしてゐる臨海工業地帯に對しての國庫補助の途は未だ開かれてゐないことである、吾々は今後これに對して努力致したいと考へてゐる。

と氏は最初の國土局長として土木局が國土局に機構改正された直後に於て國土局としての今後の港灣問題や臨海工業地帯等の諸問題についてかやうに當局の方針を明かにしてゐるが、これを見ても當時の國土局の方針は大體に於て窺はれるのである。

#### 成田氏が職中の道路關係

更に氏の土木局長から國土局長就任當時における道路關

係の大略を見ると、氏は前任者である、現内務次官山崎巖氏の後を承け繼いで道路鋪裝計畫の實行に一段の努力を拂つてゐるが、氏の在任中、即ち昭和十六年における道路改良費は國道改良費に於て五百七十九萬餘圓である、あの内特殊國道の改良費は五十萬圓、鋪裝費は二百十二萬圓であるが、繼續費は九百五十五萬圓である、更に百四十萬圓を新規追加額として計上してこれを認められてゐる。また府縣道改良費の補助の方は五百七十萬圓、其の他に於て六萬餘圓これが總合計は彼の沖繩振興道路改良費十三萬圓と大島振興道路改良費六萬圓とを加算して總合計二千二百二十九萬餘圓であつて、この外に重要道路整備調査費として五萬餘圓がある、而して新に起工する國道改良繼續工事は東海道靜岡濱松間及び其の他の六ヶ所であつて、その工事期間是最長九年計畫の下に繼續費總額三千九百七十一萬餘圓の豫算を以て起工に着手してゐる。而してこの内の所謂三十二號國道と稱せらるゝ吳市の道路改良は現海軍司政長官

である岡田文秀氏が土木局長時代の昭和十一年度に既に起

工せる既定工事に對して相當の計畫の變更によつて追加せるものである。また横須賀市内における三十一號國道及特殊三十四號國道の二工事は共に三浦半島の綜合道路の整備事業として起工することとしたのである。

### 道路の舗裝計畫

道路の舗裝計畫に至つては、もと／＼我國の道路はその改良發達の程度に於てはこれまで相當には改良されたと雖も、これを歐米諸國に比較すると尙ほ一層の遜色があつて、特に舗裝に於いては普及極めて貧弱にして既に改良濟なるに拘らず、未だ舗裝に至つてゐない區間も相當に多いのである。このやうなことは道路そのものゝ持つ機能を著しく減殺するだけではなく更に自動車其の他に及ぼす損耗も實に多大であるので、政府はこれがために山崎氏の土木局長時代に土木會議に諮問して新に道路舗裝計畫を樹立して以て重要道路の一般的改良に努むると共に他方に於ては既に未改良の舗裝道路を急速に舗裝することとしたのであつた。而してこれが企業の主體は國道は國の直轄を以て起工

するが、府縣道は夫々地方廳をして起工せしむることとしたのである、かやうに新に道路舗裝計畫の樹立後に於て現内務次官である山崎氏が當時土木局長から警視總監に榮轉したるを以て、氏はそのあとを引繼いで十五年度の後半及び十六年度に於て着々と順を追ふてこの計畫遂行に必要な資材關係や、現在の情勢に鑑みて必要なる勞働力の供給方法等及び時期、場所等について關係諸機關と緊密なる連絡をとる等これが遂行に支障なからしめるために相當の努力をなしてゐる。

### 舗裝二ヶ年計畫の概要

今茲に當時の舗裝二ヶ年計畫の概要を見ると、國道の路線總延長は七、七六一杆と府縣道一〇六、六三二杆であつて、これが既改良延長は國道に於て二、一七〇杆、府縣道では一一、三三二杆となつてゐる。而して舗裝を要する道路延長は國道では四九四杆、府縣道では二、六〇二杆であるが、この計畫は既に改良砂利道を舗裝せんとするものであつて、その利用の現狀に鑑みて緊急舗裝を必要とする箇

所の國道は前記のやうに四九四軒、府縣道では二、六〇二軒を選択して施行するの方針をとつたのである。更にこの計畫には、北海道と沖繩縣の道路鋪裝計畫は除外されてゐるが、これは北海道では拓殖費と沖繩縣では振興費を以て從來から支辨してゐるので、従つて本計畫には除外されてゐるのである。なほこの計畫の工事内容を見ると國道は全部「コンクリート」鋪裝となし、又府縣道はその交通量と地質關係及び天候等に應じて大體その四分の一は「コンクリート」の鋪裝とするも、其の他は簡易鋪裝をすることになつてゐる。且つこの鋪裝箇所の一日本平均自動車の交通量は國道に於ては五百三十六臺を、また府縣道では三百七十臺を標準箇所としてゐるが、これが施行完成後の利益はガソリンの節約、自動車銷却費其の他の諸經費並に道路修繕費等の直接利益のみにも國道は工事費の約三割二分、府縣道は四割六分に該當するの計算であるとのことである。勿論この計畫は現在我國の道路交通の現状と更に將來のことを考慮に入れると未だ充分でないことは何人と雖も肯定す

るところではあるが、當時の情況は政府の生産力擴充計畫に即應して差當つて緊急を要する道路の鋪裝を成田氏が土木局長就任前後の昭和十五年同十六年の兩年度に互つて施行せんとするものであるが、當時所要物資や勞力等の關係上この程度の計畫と實施に當るよりは仕方ないであらう。されば曩の土木會議もこれを認めて「政府は我國道路の現狀に鑑み一層之が改良に努むると共に更に根本的鋪裝計畫を樹立すべし」との希望決議をなしたのであらう。

#### 兵庫縣廳に成田長官を訪ふ

そこで筆者は一度氏の警咳に接して土木局長國土局長在職當時の感想とでもいふものを聞いたり、またその一面に於ては心密かにその人と成りを親しく推察すべく客月十四日午後一時東京驛發の特急鷗號に乗つて西下したのであつた。この列車が成田氏の任地神戸に到着するのは同日の午後十時を過ぐるので、筆者は京都に下車して一泊することにした。翌朝筆者は豫ねて知合の前内務次官であつた篠原英太郎氏が京都百二十萬の市民が多大の期待と熱望を以て

京都市長に迎へたのを聞き京都市長就任の祝辭を述べるために氏の假泊である都ホテルに赴いて親しく氏に面會篠原氏と筆者とは種々京都市について語り合つたのであつた。殊に京都と云ふところは彼の歐洲第一次大戰直後に於て後藤新平伯を迎へて總裁に戴き戰後發展全國工業博覽會を今の岡崎公園一帯の地を下して開催された際に筆者は後藤伯の紹介で當時京都商業會議所の會頭で同博の會長に推されてゐた濱岡光哲氏の下に同博の參事兼宣傳部長として同博開催の準備並に開催閉會に至るまで前後通じて約一ヶ年半程京都に居たことがあるので今尙京都には島津の重役連を始め市會にも商工會議所等にも多少知人もあり京都の事情も多少は知つてゐるので篠原新市長と語つたことは甚だ趣味が深かつたのである。兎も角十七日の午後三時を過ぐることに約廿分頃に筆者は神戸驛と三の宮驛との中間稍や高きところ即ち山の手にある兵庫縣廳に成田長官を尋ねたのである。祕書課を通じて來意を告げて貰らうと早速知事室に通されたのである瀟洒たる氏は綽然として筆者を引見して

くれたのである。

#### 氏の聲咳に接す

そこで筆者は先づ酷暑の挨拶を取交してから簡單に來意を告げると成田長官は微笑を以て「夫れは／＼この酷暑の際にわざ／＼こゝまで来てくれたことは全く御苦勞である」と筆者を犒らひ更に言葉を次いで。

私の土木局……國土局に在職當時は先づ道路問題では昭和の十五、十六、十七の三ヶ年に互つて重要道路整備の調査を始めたことであるが、この目的は現在の道路網では將來所謂大東亞の共榮圈の確立に相應じて遺憾の點も多々ないではないので、これを最近の情勢に鑑みて再検討をする必要があるのと更にまた、重要港灣と結び合つて所謂日滿支を一體として一貫した重要道路計畫の調査研究を完全なものにして時局に即應することが肝要であるからである。

と成田氏はこゝで所謂大東亞共榮圈の問題や更に高度國防國家の建設等現下の情勢について語られて後この三ヶ年に



互る時局對應の調査計畫は大分資料等も集まつて着々進捗して居るが其後轉任した併乍ら私は大いに期待してゐる等々と話されたあとで。

當時私の在職時代に東京下關間の高速自動車専用道路を研究してゐて、これが調査に着手しやうと云ふところでその一部は今の名古屋、大阪、神戸間に夫れ／＼地元に出來て更に一層神戸土木出張所で研究してゐる。

と、この東京下關間の自動車専用道路問題についても色々と言はれて。

#### 土木行政と時局對應に必要

將來を廣く洞察して勞力資材等の關係や、現在時局に於て軍方面に必要なことを重點において、更に永い目を以て日滿支の根本計畫及び更に進んで大東亞にまで及んで一般土木行政をもこれに對應して考慮するの必要があることは勿論例へば治水問題の如きも時局下の食糧増産に相視み合せて更に一層徹底的に災害の防止や利水問題等にも及んで軍事産業の一層發達を來たすべきである。

と、氏は治水行政と食糧問題や更に利水問題と産業等の關係について縷々語られたのであつたが、最後に筆者は今度兵庫縣の長官として赴任されたが、その御感想はと云へば氏は。

私は赴任して未だ間もないが一體この兵庫縣といふところは太閤である。そして面積百十五平方キロ餘と人口約百萬を擁する世界的大海港都市としての所謂神戸市を持つてゐるのみならず、東京府や大阪府と異つて、兵庫縣は農村あり山村あり漁業等種々の部類がある。従つてこれが行政の對策も廣大であると共にその仕事にも夫れ／＼變化のある事は勿論である。氣候も誠によくて住み心地がよい、縣民性は非常に優秀で、この時局に擧つて善所して官民一致頗る融和して、殊にその職業に努力してゐる。

(文責在記者)

と氏は兵庫縣民の優秀なるを説いたのであつたが、氏と筆者との談話は成田氏が兵庫縣知事といふ重要な職務を持つ頗る多忙なことに考慮して、この位にして知事室を辭去

したのであるが、歸途についた筆者は今や我國は全く有史以來の大戦争を始めてゐるこの重大なる時艱を克服して國家根本の國策を遂行して、その目的を達成貫徹するにはまだ前途容易でないのと共に國民は益々これに善所して中央地方内外を打つて一丸とする舉國一致體制を尙一層鞏固のものにせなければならぬ。これには氏の如き人材が地方指導者として我國でも經濟的に觀測するも又他方面から見ても尤も樞要の地たる兵庫縣に長たるの地位を占め以て國家行政の現地第一線を擔當してゐるのはその責任の重大さを思ふと共に心密かに意を強くしたのであつた。

縣民諸賢のために喜ぶ

嘗て筆者が敬親の友H氏は成田氏について氏は誠に清廉潔白で加ふるに質實剛健精勵恪勤の人であると云つたが、筆者は今同様しく氏の聲咳に接するを得て誠に氏はH氏の云つたやうな人物であると思ふたのである。こゝで當時明治新政府の一人材と云はれた前原一誠氏の例を引くのは前原氏の最後を見て誠に氏には非禮でもあり又氏は心持を悪く

するかも知れないが、吉田松陰先生がその一誠を批して

一誠は勇あり、智ありまた勤勉誠實人に過ぐ謂はゆる布帛粟米、適くとして用ひざるなきもの、その人物の全きこと玄瑞、晋作もまた一誠には及ばざるや遠し「註玄瑞久坂氏晋作は高杉氏である」

と云つて賞讃し、また囑望してゐた秀才であるが、筆者の見た成田氏は或るひは豪放といふやうなところはなく、亦天縱傑邁の姿を以て宇宙を籠蓋するの量ありとまでは思はないが、氏は頭腦明晰で所謂俊才たるには疑ふの餘地なく、而して努力と勤直なる、恰も行政事務には頗る鍊達してゐる最好良の行政官であることは何人と雖も認むるところであらうと思はれる。この上筆者は氏に望むに自健以て克く縣民の氏に對する敬慕と信頼の念に答へ、延いては益々國運進展に寄與されんことを望むと共に筆者もまた兵庫縣の出身であるが、氏の如き人材を長として迎へたる兵庫縣民諸君に對して衷心からお喜びの言葉を呈してこゝに拙稿を擲筆することにする。